

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2017年3月	<i>Pride and Prejudice</i> における階級間対立とミドルクラス女性の危うさ —Mrs. Bennetの考察から—	島田桂子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2017年3月	日本人学習者が英語を使用する際に心理的障壁が発生するメカニズム(※)	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2016年3月	FHSST Authors 著、The Free High School Science Texts: Textbooks for High School Students Studying the Sciences; Physics Grades 10–12の、本国文科省高等学校の物理基礎相当部分の対照訳本の制作 —高校物理基礎イメージ教材の試作—(※)	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2016年3月	“Die Like a Faithful Dog” —犬の表象から読み解く『嵐が丘』の宇宙観—	島田桂子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2015年3月	ライフストーリーからみた視覚障がい者の異文化コミュニケーション —多文化共生社会に向けて—	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2015年3月	大学入学者選抜とアフーマティブ・アクション —人種要因のアフーマティブ・アクションは必要であるか—	伊藤章教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2015年3月	新しい英語教育とその評価法 —国際バカロレアから学ぶ“新しい”ライティング能力の開発と評価法に関する一試み—(※)	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2014年3月	「慣れ」と「期待」の言語活動 解釈における認知の原始回帰ならびにタクソミーの発現	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2014年3月	ヴィクトリア朝における探偵小説流行の原因についての考察	伊藤章教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2014年3月	自己分析課題が進路選択自己効力に与える影響について	鹿内啓子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2014年3月	留学生の異文化理解に関する質的研究	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2013年3月	Conflicting Roles of Women in the Late Victorian Era —Rereading George Gissing’s The Odd Women—	上石実加子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2013年3月	Jim Harrison著“Wolf”の翻訳(※)	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2013年3月	イモーゼンの身体と汚点 — ブリテンとローマの関係から —	上石実加子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2013年3月	『モロー博士の島』にみる舞台設定の重要性	上石実加子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2013年3月	初等教育教科書の日米比較 —物語にみる文化的価値観を中心に—	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2013年3月	イヌがヤキモチを妬かないようになるには —ヒトとイヌが信頼し合える関係の提案—	石川悟准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2012年3月	『砂の妖精』三部作におけるネズビットマジック	上石実加子准教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2011年3月	文の予測性が読み手の文章理解に与える影響に関する 認知心理学的研究	後藤靖宏准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2011年3月	日系アメリカ人強制収容政策とユダヤ系アメリカ人 －収容政策に反対したユダヤ系の反応－	伊藤章教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2011年3月	『ハウーズ・エンド』に見る人と家との結びつき －最適な家へ誘導される登場人物たち－	上石実加子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2010年9月	中国と日本における英語教育の比較研究 －中学生を中心として－	早坂慶子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2010年3月	ジョン・バーニングガムの絵本手法にみる大人と子どもの関係 －チャールズ・キーピングとの比較から－	上石実加子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2010年3月	End of Darkness in <i>Paradise Lost</i> －Focus on Eve's Look－	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2010年3月	Themes and Symbols in Katherine Mansfield's Works : <i>The Doll's House, The Fly and The Canary</i>	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2010年3月	ジョイスの『ダブリンの市民』における語り手たち －視点の揺らぎが暗示する精神的麻痺状況－	上石実加子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2010年3月	高齢者が求めている英語学習 －英語教育の新しい視点－	森永正治教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2009年3月	ラドヤード・キプリングの『ジャングル・ブック』に見られるモウグリの表象	上石実加子准教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	英語教育・コミュニケーション研究	2009年3月	日本人の黒人イメージの変容 －PAC分析法を用いた個人内イメージの考察－	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2007年3月	日本語とハンガリー語のオノマトペ比較に見える音感覚 －日本語とハンガリー語の近縁関係を支持する立場から－	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2007年3月	現代(平成)の名づけから見る社会的価値観の変化	高野照司教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2007年3月	How G.M. Hopkins overcame his sufferings in the poem : "That Nature is a Heraclitean Fire and of the comfort of the Resurrection"	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2006年3月	アイヌ民族の民族意識形成 ～ライフヒストリー研究から～	吉田一彦教授 tutor長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2006年3月	高等学校「総合的な学習の時間」における国際理解の再構築 ～自己の確立を出発点として～	長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2006年3月	How Did <i>The Great Gatsby</i> Enter the Canon of American Literature? : The Relationship between the Masterpiece and the Social Situation	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2006年3月	The Battle against the Past : The Revival of National Amnesia in <i>Beloved</i>	野口忠男教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2006年3月	The selection of the Basic Words : Textbook Analysis and Its Application in Effective Pedagogical Practice	早坂慶子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2006年3月	The Effects of Euphemism on Social Encounters	吉田一彦教授 tutor長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2005年3月	William Wordsworth's "Tintern Abbey" : The Principle of Creating Poetry	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2005年3月	Christian Faith and the Works of Christina Rossetti : Focusing on "From House to Home" in <i>Goblin Market and Other Poems</i> (1862)	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2005年3月	Conversational Vocabulary of Non-native and Native English Speakers : A Corpus-based Analysis and Its Implication	早坂慶子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2004年3月	異文化理解における擬似的カルチャーショックの有効性の評価	吉田一彦教授 tutor長谷川典子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2004年3月	「学習指導要領」(「1947年版」、「1951年版」)における英語教育の意図	田中利光教授 tutor早坂慶子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2004年3月	The Description of 'The Still Point' in <i>Burnt Norton</i> —From The Point of View of Time and Space—	野口忠男教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2004年3月	<i>Breakfast at Tiffany's</i> in an Era of Adaptation	上西哲雄教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2004年3月	Behind the Silence of Africa in Hemingway's "The Snows of Kilimanjaro" : A Reconsideration of the Symbols	上西哲雄教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2004年3月	A Study of <i>Moby-Dick</i> : What Ahab and Moby Dick Represent	上西哲雄教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2004年3月	Intelligence Failure and Perception Management : Intentions concealed behind the investigations	吉田一彦教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2003年3月	Living in a Dilemma～An Essay on <i>The Black Cat</i> ～	上西哲雄教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2003年3月	Self-motivation research in Japanese English learning context Interaction between L2 motivation orientation types and self-motivation strategies	吉田一彦教授 tutor早坂慶子教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	コミュニケーション研究	2003年3月	On the Use of the Nonrestrictive Relative Pronouns in Current English, with Special Reference to "which"	吉田一彦教授
文学研究科	言語文化コミュニケーション専攻	言語文化研究	2003年3月	Mrs. Bartholomew's Recollection and Mental Transformation in <i>Tom's Midnight Garden</i>	野口忠男教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	高齢者ケアの展開と家族—日本型福祉社会論の再検討	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	精神科における聴覚障害患者のコミュニケーション保障についての一考察	米本秀仁教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	「らい予防法」廃止の目的と国家賠償請求訴訟に関する考察 ～人権を取り戻すために～	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	社会福祉実践における「目標」概念としての「Quality of Life」の意義について	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	ソーシャルワーカーの専門職アイデンティティに関する一考察	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	精神保健分野におけるボランティアの活動実態と今後の課題 ～道内5グループの調査を通じて～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	被暴力女性たちのサポート・グループにおける質的研究 ～フェミニスト・エンパワメント・アプローチ～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	生活の質を目指した痴呆性高齢者の対策(日本の到達点と韓国の方向性)	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	全身性障害者を巡る相互自己呈示における関係構造について ～参与観察による状況分析を通して～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	精神障害者の自立と支援に関する研究 ～障害概念と受容の再検討を通して～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	スクールソーシャルワークの新たな地平～不登校問題のアプローチ～	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2001年3月	高齢者の居住環境構造と意味空間(トポス) ～ケアハウス入居者の質的研究～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年9月	ケアプラン作成過程におけるソーシャルワークの視点 ～在宅高齢者に対する地域看護との比較を通して～	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	社会福祉理論における哲学的基盤の探究 ～J. ロールズとR. ノージックを中心に～	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	女性の就業パターンと性別役割 ～「M字型雇用」のケース研究を通して～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	長期入院中の老人への身体接触に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	養護児童への社会的支援のあり方 ～施設養護と里親委託の現状の比較考察を通して～	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	顔面表情による感情認知に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	都市コミュニティの福祉機能～住民意識と在宅高齢者支援活動から～	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	高齢者の意志決定の特性と支援に関する考察 ～福祉サービスの申請と選択場面を一例として～	米本秀仁教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	地域における相談援助活動のあり方を考える －在宅介護支援センターを素材として介護支援サービスとの関係から－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		2000年3月	精神障害者の地域生活支援のあり方 －浦河・十勝・倶知安の実践を通して－	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	寛解を維持する難病患者の社会生活に関する研究 －患者の意識と行動に関する事例調査からの考察－	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	社会福祉専門職従事者に対する継続教育に関する研究 －特に現任者訓練に焦点を当てて－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	老人診療報酬制度からみた医療費抑制政策の実際	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	精神障害者に対する社会的態度に関する研究 －札幌市と浦河町の一般住民ならびに精神障害者に対する調査から－	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	社会的スキルと自己主張様式に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	重度身体障害者に対する態度と価値観に関する研究 ～医療・福祉従業者を中心として～	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1999年3月	情報統合における視覚的手がかりと聴覚的手がかりの優位性に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年9月	知的障害者の結婚とその援助に関する研究	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	精神的な問題を抱えた人々の自死と家族の喪の作業	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	事業型社協の実践とケアマネジメントの展開	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	日本における「痴呆性老人グループホーム」の検証	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	コミュニケーション福祉機器の適用に関する諸条件 －重度障害者用意志伝達装置の場合－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	印象形成における身体接触の効果に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	わが国「福祉国家」の再編動向とその背景～1970年代以降を中心として～	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1998年3月	在宅障害高齢者に関する福祉機器の利用実態と問題点に関する研究	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年9月	措置制度の変革と福祉サービスの権利性	杉岡直人教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年9月	過疎農村の貧困と家族変動に関する一考察	白澤久一教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	知的障害児の歩行に関する一考察－handicapとしての歩行の観点から－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	実存的高齢者ソーシャルワーカー〈経験の知〉再考－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	視覚障害者の就労の現状と課題	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	福祉思想の展開と宗教的価値－天理教社会福祉実践を中心に－	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	ソーシャル・ワーク実践における倫理的ディレンマに関する一考察	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	青少年ボランティア活動の国際比較	杉岡直人教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	特別養護老人ホーム利用者の権利保障に関する一考察	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	社会的スキルとしての自己表現 －アサーションと主観的充実感の関連性およびスキル・トレーニングの有効性－	鹿内啓子教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1997年3月	恋愛意識構造の多元的検討～青年期を中心として～	鹿内啓子教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	ガン告知場面における意思決定過程の一考察 ～インフォームド・コンセントからネゴシエイトド・コンセントへ～	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	我が国における福祉意識と権威主義の関連構造に関する研究	永田勝彦教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	高齢化社会における高齢消費者問題～豊田商事事件を手がかりに～	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	介護福祉士養成教育の研究－実習教育を手がかりに－	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	精神障害者の当事者組織の研究－患者会《すみれ会》の現地調査報告	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	在宅要援護老人介護者のストレスの認知的評価・サポートと 精神的健康に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	進学競争における教育病理－底辺の子供たちの教育福祉を目指して－	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1996年3月	自己意識特性と対人関係に関する認知的研究 －異文化接触における葛藤の対処行動－	大坊郁夫教授

研究科	専攻	領域	修了年月	修士論文・特定課題研究タイトル	指導教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	わが国におけるケースマネジメントの理論的・実践的課題 －英米ケースマネジメントの到達点から－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	社会福祉士制度研究－社会福祉専門職制度の成立過程と課題－	松井二郎教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	早期発見・早期療育10年の追跡調査研究 －早期発見・早期療育の成果と限界及び今後の課題を探る－	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	フェミニズムの視点から見た家族病理と家族福祉の方向性について －フェミニズムの視点に立つ助産婦による家族関係への援助－	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	ノーマリゼーション概念の整理と検討	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	中国帰国者のアイデンティティ問題に関する研究	大坊郁夫教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1995年3月	居宅障害者ニーズに対するサービス供給の問題 －ケアマネジメントの枠組みを探る－	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1994年3月	イギリスにおける医療供給制度と医療改革の関連性に関する研究	忍博次教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1994年3月	福祉「改革」と高齢者サービス供給システム ～新自由主義のイデオロギーを越えて～	米本秀仁教授
文学研究科	社会福祉学専攻		1994年3月	孤独感概念の心理学的検討	大坊郁夫教授

・ 特定課題研究についてはタイトルに(※)を付す